



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3344S		
科目名	専門英語プレゼンテーション2		
担当教員	加納 奈保子		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	木 1		
講義室	1407	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>D P 1 - E (学識・専門技能) 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。</p> <p>D P 4 - F (探求力・課題解決力) 問いを設定しまたは論点を特定し、それに対する答え・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>D P 4 - I (理解力・分析力) 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>D P 6 - K (表現力・対話力) 文章および口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。</p> <p>■ C Rコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連</p> <p>E 1 学術・専門技能 (30%)</p> <p>F 2 課題解決 (20%)</p> <p>I 3 情報分析 (20%)</p> <p>K 2 オーラル・コミュニケーション (30%)</p>		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	<p>本授業は2年次までに滋養された基礎的なプレゼンテーションのスキルをもとに、危機管理の専門家に求められる国際的発信力を高めることを目的としています。授業では、自分の考えや提案を効果的に相手に伝える5つのプレゼンテーションモデルを学修します。【災害】【国際法】【テロリズム】【情報セキュリティ】といった危機管理に関する実際のプレゼンテーション動画を授業内で見たり、プレゼンテーションの際に役立つ定型表現を学習したりしながら、段階的に自身の関心のある危機管理のテーマに沿った簡単なプレゼンテーションを作成し、発表練習します。また、発表するだけでなく、プレゼンテーションを聞く側としても参加することで、プレゼンテーションに対する多角的なスキルをトレーニングします。</p> <p>はじめの数回の授業では、プレゼンテーションの基本を学びなおすことが出来ますので、受講者の学習レベルは問いません。授業形態は演習形式となります。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 (キーワード) 国際的発信力・危機管理・プレゼンテーションの5つのモデル</p>		
授業の趣旨	<p>■ 副題 危機管理をテーマにした英語プレゼンテーションスキルを身につけよう！</p> <p>■ 授業の目的 国内外の危機管理の分野で活躍するためには、英語による発信力を高めることが不可欠です。本授業は、危機管理に関する自身の考えや提案などを的確かつ効果的に相手に伝えられるプレゼンテーションのスキルを学修します。具体的には、プレゼンテーションの5つのスタイルを学びながら、危機管理の専門家による英語プレゼンテーション動画を参考にして、実際に自分でも関心のある危機管理のテーマについて英語で発表することができるようにします。英語に限らず、人前で発表する際に求められるプレゼンテーションのコツを学ぶことができます。</p> <p>■ 授業のポイント 英語によるプレゼンテーションは、日本語のプレゼンテーションを英訳したものにとどまっている場合や、方法がわからず戸惑うケースが目立ちます。そこでこの授業では、英語のプレゼンテーションを</p>		

	<p>informative presentationとpersuasive presentationという視点から5つのスタイルをテキストを通して学び、また、危機管理の専門家実際のプレゼンテーション動画を教材にしなが、自身のプレゼンテーションのスキルを高める表現力や語彙力を身につけていきます。</p>												
<p>総合到達目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自身の専門分野である危機管理のテーマについて英語でプレゼンする際に、的確かつ効果的に自分の考えを相手に伝えるためのプレゼンテーションスキルを修得する。</li> <li>・プレゼンテーションの基本構造、情報倫理を説明できる。(第2回～5回)</li> <li>・Informative presentationとは何か説明できる。(第6回)</li> <li>・調査型プレゼンテーションとは何か説明でき、自身で簡単な調査型プレゼンテーションを行うことができる。(第6～7回)</li> <li>・報告型プレゼンテーションとは何か説明でき、自身で簡単な報告型プレゼンテーションをすることができる。(第8～9回)</li> <li>・Persuasive presentationとは何か説明でき、自身で簡単な説得型プレゼンテーションをすることができる。(第10～15回)</li> <li>・原因・結果型プレゼンテーションとは何か説明でき、自身で簡単な原因・結果型プレゼンテーションをすることができる。(第10～11回)</li> <li>・比較対照型プレゼンテーションとは何か説明でき、自身で簡単な比較対照型プレゼンテーションをすることができる。(第12～13回)</li> <li>・説得型・提案型プレゼンテーションとは何か説明でき、自身で簡単な説得型・提案型プレゼンテーションをすることができる。(第14～15回)</li> <li>・プレゼンテーションで用いる基本的な表現が身につく。(第2回～15回)</li> <li>・危機管理をテーマにした専門家のプレゼンテーションについて、プレゼンテーションの仕方という観点から分析・評価することが出来る。(第6回～15回)</li> <li>・危機管理をテーマにした簡単なプレゼンテーションドラフトを作ることが出来る。(第7,9,11,13,15)</li> </ul>												
<p>成績評価方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■適用ルーブリック E 1 30% F 2 20% I 3 20% K 2 30%</li> <li>■授業参加度 70% (E1, F2, I3, K2) (評価基準) 授業のアクティビティに意欲的に参加しているかをはかります。</li> <li>■課題 30% (E1, F2, I3) (評価基準) ドラフトを期限までに提出したか、テーマに沿った内容であったか、授業で学修した語彙や表現が用いられているか、PPTの出来をはかります。 (フィードバック方法) 提出期限ごとに採点し、評価を伝えます。</li> </ul>												
<p>履修条件</p>	<p>英語I～VIIIを履修済み、あるいは、認定済みであること。</p>												
<p>履修上の注意点</p>	<p>特にありません。</p>												
<p>授業内容</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">回</th> <th style="width: 95%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>①授業テーマ ガイダンス</li> <li>②授業概要 授業の内容や進行方法、扱うテーマ、教材の開設、受講生が目指す到達点、評価方法について説明を行う。(E1 K2)</li> <li>③予習 (60分) シラバスを読んでおく。また、簡単な自己紹介を英語で行う準備をしておく。</li> <li>④復習 (60分) 授業についての説明を見直し、履修登録を済ませる。また、テキストの手配をしておく。危機管理をテーマにした英語プレゼンテーションをネット上で探し、視聴する。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>①授業テーマ プレゼンテーションの基本構造とスキルの確認</li> <li>②授業概要 Unit 1 プレゼンテーションの構造 および Unit 2 姿勢、アイコンタクト、話し方などのプレゼンテーションのスキルについて確認し、実際に練習する。(E1 K2)</li> <li>③予習 60分 テキストを購入しておき、9頁を答えておく。</li> <li>④復習 60分 プレゼンテーションの基本構造についてテキスト11、18頁を音読する。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>①授業テーマ プレゼンテーションの情報収集と情報倫理</li> <li>②授業概要 Unit 3 プレゼンテーション作成のための情報収集の方法と順守すべき情報倫理を説明する。危機管理の文献を引用した他者紹介プレゼンテーションをする。(E1 F2 I3 K2)</li> <li>③予習 (60分) テキストの19頁を解いておく。</li> <li>④復習 (60分) 危機管理の文献を引用した他者紹介プレゼンテーションをフィードバックをもとに改善する。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>①授業テーマ プレゼンテーションの環境の準備</li> <li>②授業概要 Unit 4 プレゼンテーションの目的に合わせたフロアの使い方、視覚情報の提示の仕方を説明する。(E1 F2 K2)</li> <li>③予習 (60分) テキストの25、26頁を読んでおき、プレゼンテーション環境について理解を深めておく。</li> <li>④復習 (60分) プレゼンテーション作成のため、災害や犯罪における数値を使う情報を入手しておく。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>①授業テーマ プレゼンテーションの環境の準備</li> <li>②授業概要 Unit 4 プレゼンテーションの目的に合わせた視覚情報の提示の仕方を確認し、災害や犯罪について視覚情報を使ったプレゼンテーションをする。(E1 F2 I3 K2)</li> <li>③予習 (60分) 災害や犯罪における数値を使う情報を入手し、プレゼンテーションドラフトを完成させておく。</li> <li>④復習 (60分) 災害や犯罪における数値を使ったプレゼンテーションをフィードバックをもとに改善する。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業テーマ ガイダンス</li> <li>②授業概要 授業の内容や進行方法、扱うテーマ、教材の開設、受講生が目指す到達点、評価方法について説明を行う。(E1 K2)</li> <li>③予習 (60分) シラバスを読んでおく。また、簡単な自己紹介を英語で行う準備をしておく。</li> <li>④復習 (60分) 授業についての説明を見直し、履修登録を済ませる。また、テキストの手配をしておく。危機管理をテーマにした英語プレゼンテーションをネット上で探し、視聴する。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業テーマ プレゼンテーションの基本構造とスキルの確認</li> <li>②授業概要 Unit 1 プレゼンテーションの構造 および Unit 2 姿勢、アイコンタクト、話し方などのプレゼンテーションのスキルについて確認し、実際に練習する。(E1 K2)</li> <li>③予習 60分 テキストを購入しておき、9頁を答えておく。</li> <li>④復習 60分 プレゼンテーションの基本構造についてテキスト11、18頁を音読する。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業テーマ プレゼンテーションの情報収集と情報倫理</li> <li>②授業概要 Unit 3 プレゼンテーション作成のための情報収集の方法と順守すべき情報倫理を説明する。危機管理の文献を引用した他者紹介プレゼンテーションをする。(E1 F2 I3 K2)</li> <li>③予習 (60分) テキストの19頁を解いておく。</li> <li>④復習 (60分) 危機管理の文献を引用した他者紹介プレゼンテーションをフィードバックをもとに改善する。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業テーマ プレゼンテーションの環境の準備</li> <li>②授業概要 Unit 4 プレゼンテーションの目的に合わせたフロアの使い方、視覚情報の提示の仕方を説明する。(E1 F2 K2)</li> <li>③予習 (60分) テキストの25、26頁を読んでおき、プレゼンテーション環境について理解を深めておく。</li> <li>④復習 (60分) プレゼンテーション作成のため、災害や犯罪における数値を使う情報を入手しておく。</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業テーマ プレゼンテーションの環境の準備</li> <li>②授業概要 Unit 4 プレゼンテーションの目的に合わせた視覚情報の提示の仕方を確認し、災害や犯罪について視覚情報を使ったプレゼンテーションをする。(E1 F2 I3 K2)</li> <li>③予習 (60分) 災害や犯罪における数値を使う情報を入手し、プレゼンテーションドラフトを完成させておく。</li> <li>④復習 (60分) 災害や犯罪における数値を使ったプレゼンテーションをフィードバックをもとに改善する。</li> </ul>
回	内容												
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業テーマ ガイダンス</li> <li>②授業概要 授業の内容や進行方法、扱うテーマ、教材の開設、受講生が目指す到達点、評価方法について説明を行う。(E1 K2)</li> <li>③予習 (60分) シラバスを読んでおく。また、簡単な自己紹介を英語で行う準備をしておく。</li> <li>④復習 (60分) 授業についての説明を見直し、履修登録を済ませる。また、テキストの手配をしておく。危機管理をテーマにした英語プレゼンテーションをネット上で探し、視聴する。</li> </ul>												
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業テーマ プレゼンテーションの基本構造とスキルの確認</li> <li>②授業概要 Unit 1 プレゼンテーションの構造 および Unit 2 姿勢、アイコンタクト、話し方などのプレゼンテーションのスキルについて確認し、実際に練習する。(E1 K2)</li> <li>③予習 60分 テキストを購入しておき、9頁を答えておく。</li> <li>④復習 60分 プレゼンテーションの基本構造についてテキスト11、18頁を音読する。</li> </ul>												
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業テーマ プレゼンテーションの情報収集と情報倫理</li> <li>②授業概要 Unit 3 プレゼンテーション作成のための情報収集の方法と順守すべき情報倫理を説明する。危機管理の文献を引用した他者紹介プレゼンテーションをする。(E1 F2 I3 K2)</li> <li>③予習 (60分) テキストの19頁を解いておく。</li> <li>④復習 (60分) 危機管理の文献を引用した他者紹介プレゼンテーションをフィードバックをもとに改善する。</li> </ul>												
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業テーマ プレゼンテーションの環境の準備</li> <li>②授業概要 Unit 4 プレゼンテーションの目的に合わせたフロアの使い方、視覚情報の提示の仕方を説明する。(E1 F2 K2)</li> <li>③予習 (60分) テキストの25、26頁を読んでおき、プレゼンテーション環境について理解を深めておく。</li> <li>④復習 (60分) プレゼンテーション作成のため、災害や犯罪における数値を使う情報を入手しておく。</li> </ul>												
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業テーマ プレゼンテーションの環境の準備</li> <li>②授業概要 Unit 4 プレゼンテーションの目的に合わせた視覚情報の提示の仕方を確認し、災害や犯罪について視覚情報を使ったプレゼンテーションをする。(E1 F2 I3 K2)</li> <li>③予習 (60分) 災害や犯罪における数値を使う情報を入手し、プレゼンテーションドラフトを完成させておく。</li> <li>④復習 (60分) 災害や犯罪における数値を使ったプレゼンテーションをフィードバックをもとに改善する。</li> </ul>												

6	<p>①授業テーマ Informative presentation: Type 4 調査型プレゼンテーション</p> <p>②授業概要 Unit 8 特定の研究や調査について、目的・方法・結果の順で体系的に説明する調査型プレゼンテーションについて解説する。(E1 F2 K2)</p> <p>③予習 (60分) 調査型プレゼンテーションについて書かれたテキスト49、50頁を読んでおく。</p> <p>④復習 (60分) 調査型プレゼンテーションについての動画を見直し、調査型プレゼンテーションが何か説明できるようにする。</p>
7	<p>①授業テーマ Informative presentation: Type 4 調査型プレゼンテーション</p> <p>②授業概要 Unit 8 調査型プレゼンテーションについて確認し、動画を参考にしながら自身で災害に関する調査結果を報告するプレゼンテーションする。(E1 F2 I3 K2)</p> <p>③予習 (60分) 災害に関する調査結果を探し、報告したい内容を絞り込んでおく。</p> <p>④復習 (60分) 災害に関する調査結果を報告した自身のプレゼンテーションを、フィードバックをもとに改善する。</p>
8	<p>①授業テーマ Informative presentation: 報告型プレゼンテーション</p> <p>②授業概要 Unit 9 国際間の危機管理に関する3分から5分のボリュームの報告型プレゼンテーションを作成する。(E1 F2 K2)</p> <p>③予習 (60分) 報告型プレゼンテーションの実践について書かれたテキスト55頁を読んでおく。</p> <p>④復習 (60分) 国際間の危機管理についての報告型プレゼンテーションについてのドラフトを完成させ、発表練習をしておく。</p>
9	<p>①授業テーマ Informative presentation: 報告型プレゼンテーション</p> <p>②授業概要 Unit 9 国際間の危機管理に関する報告型プレゼンテーションの発表をし、発表者相互で評価する。(E1 F2 I3 K2)</p> <p>③予習 (60分) 報告型プレゼンテーションの発表練習をしておく。</p> <p>④復習 (60分) 国際間の危機管理に関する自身の報告型プレゼンテーションを、フィードバックをもとに改善する。</p>
10	<p>①授業テーマ Persuasive presentation: Type 7 原因・結果型プレゼンテーション</p> <p>②授業概要 Unit 12 ある問題の原因と結果を詳しく説明し、因果関係を明らかにする原因・結果型プレゼンテーションについて解説する。(E1 F2 K2)</p> <p>③予習 (60分) 原因・結果型プレゼンテーションについて書かれたテキスト73、74頁を読んでおく。</p> <p>④復習 (60分) 原因・結果型プレゼンテーションが何か説明できるようにする。</p>
11	<p>①授業テーマ Informative presentation: Type 7 原因・結果型プレゼンテーション</p> <p>②授業概要 Unit 12 原因・結果型プレゼンテーションについて確認し、テロ・戦争の原因・結果について自身でプレゼンテーションする。(E1 F2 I3 K2)</p> <p>③予習 (60分) テロ・戦争の原因・結果について調べ、自身の報告内容を明確にしておく。</p> <p>④復習 (60分) テロ・戦争の原因・結果についての自身のプレゼンテーションを、フィードバックをもとに改善する。</p>
12	<p>①授業テーマ Persuasive presentation: Type 8 比較対照型プレゼンテーション</p> <p>②授業概要 Unit 13 2つの物の共通点と相違点を比較して検討させる比較対照型プレゼンテーションについて解説する。(E1 F2 K2)</p> <p>③予習 (60分) 比較対照型プレゼンテーションについて書かれたテキスト79、80頁を読んでおく。</p> <p>④復習 (60分) テキスト79、80頁を音読し、比較対照型プレゼンテーションが何か説明できるようにする。</p>
13	<p>①授業テーマ Persuasive presentation: Type 8 比較対照型プレゼンテーション</p> <p>②授業概要 Unit 13 比較対照型プレゼンテーションについて確認し、情報セキュリティに関するプレゼンテーションを作成する。(E1 F2 I3 K2)</p> <p>③予習 (60分) 情報セキュリティに関して対比したい内容を明確にしておく。</p> <p>④復習 (60分) 情報セキュリティに関する比較対象型の自身のプレゼンテーションを、フィードバックをもとに改善する。</p>
14	<p>①授業テーマ Persuasive presentation: 説得型・提案型プレゼンテーション</p> <p>②授業概要 Unit 14 危機管理分野のリーダーシップに関する動画を参考にしながら、説得型・提案型プレゼンテーションについて解説する。(E1 F2 K2)</p> <p>③予習 (60分) 説得型・提案型プレゼンテーションについて書かれたテキスト67、68頁を読んでおく。</p> <p>④復習 (60分) 説得型・提案型プレゼンテーションについての動画を見直し、自身の説得型・提案型プレゼンテーションの発表内容を準備する。</p>
15	<p>①授業テーマ Persuasive presentation: 説得型・提案型プレゼンテーション</p> <p>②授業概要 Unit 14 説得型・提案型プレゼンテーションについて確認し、危機管理分野のリーダーシップについて自身のプレゼンテーションを作成する。(E1 F2 I3 K2)</p> <p>③予習 (60分) 危機管理の分野におけるリーダーシップの動画を見て、動画で提案されていた説得・提案内容を明確にしておく。</p> <p>④復習 (60分) 危機管理の分野におけるリーダーシップの自身のプレゼンテーションを、フィードバックをもとに改善する。</p>

関連科目

英語プレゼンテーション2 (RMGT3346)

教科書	Morita Akira. Winning Presentations: 8 Types of Successful Presentation. Seibido, 2018. ISBN:978-4-7919-3424-9 (『動画で学ぶ英語プレゼンテーション』成美堂)
参考書・参考URL	<a href="https://www.seibido.co.jp/np/code/9784791934249/">https://www.seibido.co.jp/np/code/9784791934249/</a>
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に指示します。 ■オフィスアワー 開講時に指示します。
研究比率	危機管理領域と英語とのおおよその比率 (40% : 60%)



-----  
Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.